

新宮山彦ぐるーぷ第2409回

新十二支会例会、馬乗山(500.1m 福山市)

◇参加者 梶野照雄、大江加予子・徳子、田中稔昭、椎木堯 5名

◇実施日 1月18日(日)、19日(月) 晴

【1月18日 前夜祭】

新十二支会の例会が1月18、19日に開催されたので参加してきた。過去は土日の開催だったが、月曜を含むこともあり、また家族の事情などで5名だけの参加となった。午前10時半に家を出て、山陽道経由で前夜祭の会場である「尾道ふれあいの里」に向かった。途中5ヶ所のパーキングエリアで休みながら午後3時半に会場に着いた。同時に大江車も到着、荷物を降ろすのを手伝った。



大江さんと同着



ロビーで受け付け



会場の準備

受付を済ませ部屋に向かう。椎木さんや伊藤さんなど、馴染みの顔も見え20分位話しをした。「尾道ふれあいの里」は小高い山の上であり周りにはグラウンドがあるだけで、歩いて見て回るものは何もなかった。尾道市に合併する前は「御調(みつぎ)ふれあいの里」と言う名前だったようだ。広い駐車場の9割くらいに車が停まっている。大半が日帰り入浴の人で、お風呂に人気があるようだ。堀会長と伊藤さんと私の3人で会場にビールやお酒を運び、横断幕を取り付けて準備した。



前夜祭

二次会

前夜祭は午後6時に開場、総勢33名の参加があった。会長の挨拶に続き伊藤さんの音頭で乾杯。賑やかな宴が始まった。最後の会長挨拶では来年の例会は兵庫県の櫃ヶ岳を予定しているとのことのお話があった。午後8時前に前夜祭を終え、部屋を移して二次会が始まった。二次会の途中で抜け出しお風呂に入ってきたが、部屋に戻ると二次会は終わっていた。大騒ぎせずに解散したらしいので周りから

苦情が来ることもなく一安心だ。

【1月19日 馬乗山】

朝4時半ごろに目が覚め、暫く布団の中でじっとしていた。午前5時半に起きて外の様子を見に行った。よく晴れていたせいか車の屋根やフロントガラスは霜で真っ白になっていた。



霜で真っ白



朝食



宿舎を出発

午前7時から朝食を摂り、東京の池田さんに乗せて8時半に宿を出た。馬乗山の登山口までは50kmほどあり1時間以上かかるようだ。登山口近くになり「馬乗観音」という案内があったので左折して山に入ってみた。急カーブと急登がしばらく続いたが、尾根に出ると道幅も広くなり傾斜も殆ど無くなった。携帯電話の鉄塔を二つ越えて道の終点まで行ったが、馬乗観音のお堂があるだけで誰もいなかった。すぐに元の道に引き返した。途中で電話もあり、何とか目的地に着いたが余計な所に行ったので45分ほどロスをした。

登山口で会長から3人乗せて山頂まで行ってほしい、と要請があった。どうやら山頂まで道路が通じているようだ。椎木さんが昨年12月に下見してよくわかっているとのこと、椎木さんの車にも歩かない3人が乗り込み2台で山頂を目指す。椎木さんのあとをついていくとさっき入った「馬乗観音」への道を進んでいく。今しがた通ったばかりなので、山頂つて有ったかな？と思いつながら進んでいくと、一つ目の鉄塔脇で停車した。



山頂まで10m

馬乗山山頂

馬乗観音

「ここが山頂」と指さす先に階段があり、小さな標識に「馬乗山山頂」と書いてあった。登ってみること10m、12年前に付けられた十二支会の標識が残る山頂に到着した。さっき通ってきたときは山頂がこれほど近いとは思わず、素通りしていた。「馬乗観音」まで移動し靴を履き替えて山頂に向かう。徳子ちゃんから電話があり「遅れている人が3人いるので車で迎えに来てほしい」と言うので椎木さんをお願いして行ってもらった。山頂下の道路で登ってくる

人を案内し最後尾の堀会長に山頂を踏んでいただき、一緒に「馬乗観音」へ行った。



本日の参加者



慶祝者



金箔入りの酒



乾杯



月曜は休業



フルーツも

全員が揃ったところで慶祝者にお祝い贈呈、万歳三唱の後、岐阜の

会員が担ぎ上げてくれた金箔入りのお酒が振る舞われた。昼食は大江さんが作って持ってきてくれたサンマ寿司で、33人分を用意するのは大変だっただろうと感謝しかない。昼食休憩後、乗せてきた3人を積んで登山口に戻った。



岩屋権現

登山口から300mほど歩いて「岩屋権現」に向かう。「岩屋権現」は「笹の窟」の3倍位ある広い岩窟で、上部の岩は石灰岩だそうだ。上には鍾乳石、下には石筍が見られる。ここは石灰岩が地上に露出しているが、地下に未知の鍾乳洞があるのではと思いたくなる。歩きの皆さんが降りてきて登山口で解散。池田さん一人を福山駅まで送り届け、井原市のデニムショップに寄り道してブランドデニムパンツを買って帰宅した。

(記：梶野)